

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 8月

平成27年8月1日の推計人口 1,376,084人

世帯数 570,159世帯

参考：H22.10.1 現在国勢調査総人口：1,426,779人、
世帯数：558,660世帯

1 推計人口

平成27年8月1日現在の推計人口は、1,376,084人で、前月(1,375,849)に比べ235人の増加となった。

市部では長崎市(460)、大村市(161)、諫早市(79)、松浦市(22)、西海市(10)の5市で増加し、佐世保市(236)、南島原市(56)、壱岐市(42)、島原市(34)、平戸市(32)、対馬市(31)、五島市(9)、雲仙市(6)の8市で減少した。

郡部においては、長与町(45)、川棚町(5)、波佐見町(1)の3町で増加し、時津町(71)、新上五島町(15)、小値賀町(11)、東彼杵町(5)などの4町で減少した。(佐々町は増減なし)

自然動態は、出生数990人、死亡数1,325人で335人の減少、社会動態は、転入者数4,043人(県内転入を含む)、転出者数3,473人(県内転出を含む)で、570人の増加となった。

2 世帯数

平成27年8月1日現在の世帯数は、570,159世帯で前月(569,678)に比べ481世帯の増加となった。

(注)

異動人口推計 = H22国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…6月

1人あたり現金給与総額 434,815円
対前月比 69.0%増加
対前年同月比 4.2%増加

1 賃金

6月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額434,815円で、前月に比べ69.0%増加し、前年同月に比べ4.2%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は248,319円で、前月に比べ0.5%増加し、前年同月に比べ2.2%増加した。

特別給与額は186,496円で、前年同月に比べ、14,529円増加した。

2 労働時間

6月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は162.5時間で、前月に比べ5.5%増加し、前年同月に比べ1.1%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は149.9時間で前月に比べ6.3%増加し、前年同月と比べ0.8%増加した。

所定外労働時間数は12.6時間で、前月に比べ3.8%減少し、前年同月に比べ3.9%増加した。

3 雇用

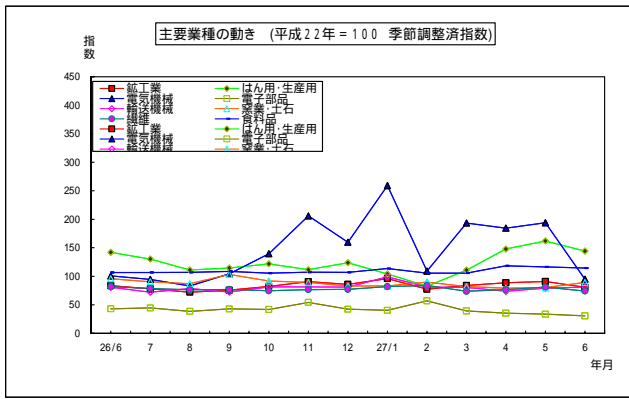
6月の常用労働者数は214,644人で、前月比は0.0%で、前年同月に比べ0.9%減少した。

【鉱工業生産指数】……………6月

平成27年6月の鉱工業生産指数

(平成22年=100)

区分	季節調整指数	前月比(%)	原指数	
			原指数	前年同月比(%)
長崎県	80.8	11.1	83.9	3.0
九州	105.9	3.1	108.5	8.9
全国	98.3	1.1	102.4	2.3



平成27年6月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が80.8で前月比は11.1%の減、原指数は83.9で、対前年同月比は3.0%の減となった。

業種別にみると、窯業・土石製品工業、輸送機械工業など5業種が上昇し、電気機械工業、はん用・生産用機械工業、電子部品・デバイス工業、繊維工業、食料品工業など8業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇に寄与した主な品目
窯業・土石製品工業	11.2	6.2	生コンクリート
輸送機械工業	2.7	1.1	新造船

主な低下業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	51.1	3.3	交流発電機
はん用・生産用機械工業	11.0	0.6	クレーン
電子部品・デバイス工業	8.9	28.1	半導体集積回路
繊維工業	8.6	9.2	織物製外衣
食料品工業	1.8	7.7	煮干

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………7月

総合指数(H22=100)	103.3
対前月比(%)	0.1
対前年同月比(%)	0.6

平成27年7月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成22年を100として、103.3である。

前月比は、0.1%の下落で、下落要因は「光熱・水道」の1.4%、「被服及び履物」の3.5%、「保健医療」の0.8%であり、主な上昇要因は「教養娯楽」の+1.3%である。

前年同月比は、平成27年4月は+1.0%、5月は+1.0%、6月は+0.6%と推移した後、7月は0.6%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.3であり、前月比は同水準、前年同月比は0.4%の上昇であった。

(前月との比較)

上昇した費目

家具・家事用品	+0.8%
交通・通信	+0.6%
教養娯楽	+1.3%
諸雑費	+0.4%

下落した費目

食料	0.1%
光熱・水道	1.4%
被服及び履物	3.5%
保健医療	0.8%
教育	0.1%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……7月

消費支出(一世帯当たり)	273,021円
前月比	268,023円(1.9%増)

平成27年7月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は273,021円で、前月比1.9%の増。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は83.3%であった。

主な支出内容	支出額(円)	前月比(%)
食料	67,958	11.5
住居	15,718	28.1
光熱・水道	19,813	5.6
交通・通信	31,189	24.5
教養娯楽	18,786	37.9

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。